

## 2018 春分の日の関東の大雪

春を告げる使者として、この時期には低気圧が日本の南岸をひっきりなしに通過することが多い。今年の春分の日前後にも列島の南岸に低気圧や前線が絶えず存在していて、そのため関東地方では春の淡雪が降った。3/21 春分の日積雪は、群馬県みなかみ町藤原で 76cm、山梨県河口湖町で 31cm、神奈川県箱根で 29cm、また関東平野平地の八王子市街でも 12cm の積雪を見た。奇しくもこの日は東京で桜開花宣言があったが、平年に比べて 10 日早い開花となった。

東京都の奥多摩町には、32 年ぶりという「大雪警報」が発令され、奥多摩の山々では 40cm 程度の積雪があった。ご参考までに、この時に気象庁から発表された「気象情報」を下に掲げる。

### 大雪に関する東京都気象情報 第 1 号

平成 30 年 3 月 21 日 13 時 44 分 気象庁予報部発表

(見出し)

奥多摩町に大雪警報を発表しました。東京地方では、多摩地方を中心に 21 日夜のはじめ頃にかけて大雪となる所があるでしょう。多摩地方では、大雪や路面の凍結による交通障害に警戒してください。

(本文)

[気象状況と予想]

22 日にかけて、前線を伴った低気圧が本州の南岸を発達しながら北東に進む見込みです。また、関東甲信地方には寒気が流れ込むでしょう。

[雪の実況と予想]

低気圧や前線の影響で、21 日夜のはじめ頃にかけて多摩地方を中心に大雪となるでしょう。

21 日 13 時現在の積雪の深さは、多摩地方の多い所で 10 センチ程度となっています。

22 日 12 時までの 24 時間に予想される降雪量は、多い所で、多摩西部 20 センチ、多摩北部、多摩南部 5 センチ、東京 23 区 2 センチです。

予想よりも気温が下がった場合、東京 23 区でも大雪となる可能性があります。

[防災事項]

多摩地方では、大雪や路面の凍結による交通障害に警戒してください。また、今降っている雪は、21 日夜には次第に雨に変わり、積雪の重さが一層増すため、ビニールハウスなどの農業施設は倒壊のおそれがありますので注意が必要です。

[補足事項]

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

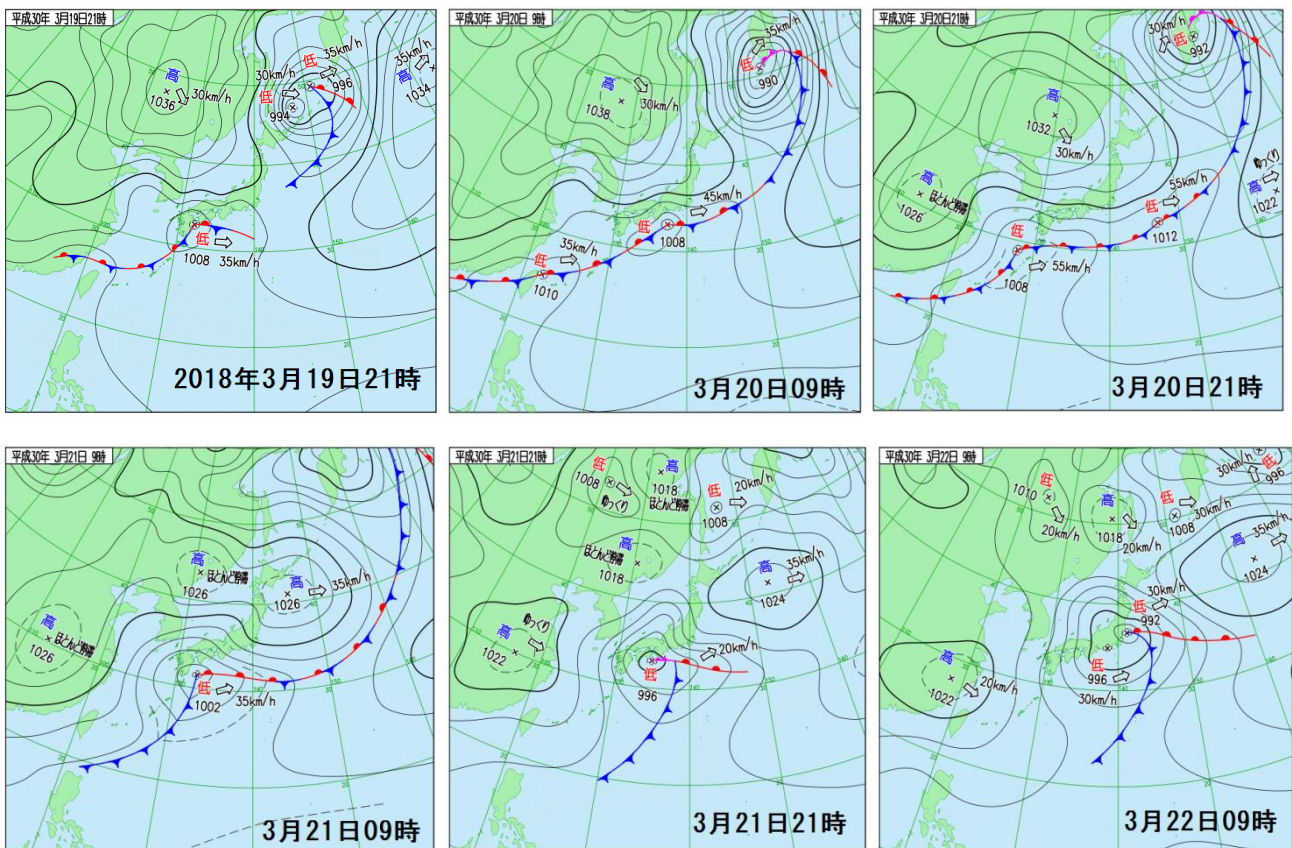
次の「大雪に関する東京都気象情報」は 21 日 17 時頃発表の予定です。

この時の天気図は次ページに掲げるが、この奥多摩に降った大雪の為に、山頭山(1531m)に登っていた 13 人が下山できなくなり、警察に救助を要請、全員救助されたが、中には骨折や低体温症などの重傷を負った登山者もあった。

大雪警報が出ていた折に登山するのも無謀の非りを免れないが、真夜中になってからの救助要請なども適切ではなかったと批判された。

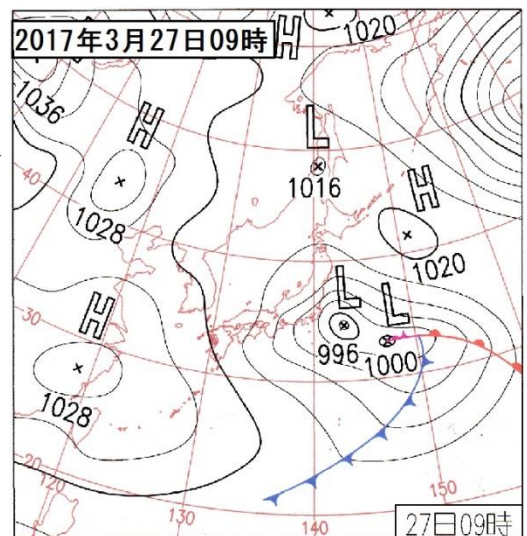


この時の連続天気図を下に掲げるが、3月19日夜から3月22日午前まで列島の南岸には常時低気圧と前線が存在していた。この低気圧や前線に向かって暖湿な気流が流入し、また関東甲信には上空に寒気が入っていたので、悪天となって時ならぬ大雪を降らせたという訳である。



さて、記憶されている方々も多いと思うが、ほぼ1年前の2017年3月27日には、那須で雪山訓練中の栃木県高校生が雪崩に巻き込まれて生徒・引率教師8人が死亡、その他40人の生徒が重軽傷を負うという悲惨な遭難事故が発生した。

この時は、那須高原で1日に35cmの降雪があり、史上第1位の日降雪量となった。この時の天気図を右に掲げる。那須に大雪が降ったのは、3月26日の夜間から27日の早朝であろうから、南岸低気圧の位置は右図より多少西側にあったと思われるが、いずれにしても上記の天気図と同様な気圧配置であった。



長い冬がやっと終わって心浮き立つ早春になれば、春山への誘惑が頭をもたげて来るが、春一番が吹く2月頃からGWの頃までは、時ならぬ暴風雪(雨)や、絶え間ない天候の激変に注意することが肝心であろう。

(本稿 完)